

日本・スウェーデン国際合同シンポジウム

## 「東アジアの死刑」

### ご招待

2002年から2005年にかけての4年間、スウェーデン、オランダ、中国、イギリス、そして日本の各研究機関所属の研究者が、国際学術研究「東アジアにおける法と習慣」（日本学術振興会科学研究費基盤研究〈A〉）を進め、このたび、その成果として、日本学術振興会の助成金を得て、京都大学学術出版会から『東アジアの死刑』を刊行いたしました。

これは、中国・朝鮮・日本・インド・ネパールにおける死刑制度の歴史・思想・宗教・社会認識などの実証的研究ですが、出版を機に、我々の国際学術研究をひろく一般に紹介し、かつ社会に成果を還元する目的で、京都大学人文科学研究所、スウェーデン大使館、京都大学学術出版会が共催でシンポジウムを開きます。

死刑をめぐるのは、日本では、世相の変化と共に、存続と廃止の間で振り子現象を繰り返しつつ議論されております。しかし、死刑の存廃を考えるに当たり、まず押さえておかねばならないのは、東アジアにおける死刑の歴史、罪と罰の法意識であり、時間的には、古代から現代に至る時間軸と、西洋と東洋の両世界の空間軸のうえに、歴史的、思想的、習慣的方面からの考察を行わねばならず、かくしてはじめて、日本の、また東アジアの死刑問題の根源が明らかになり、真の死刑存廃の議論ができるのではないのでしょうか。

さらに、問題は死刑のみならず、法制度一般にかんしてのアジアと欧米の違い、それが生み出す摩擦の解明にも繋がると考えております。本書、本シンポジウムがこういった現代社会がかかえる課題の解明に寄与できればと願い、ここにご招待申し上げる次第でございます。ご参加を賜るにあたりましては、お手数ではございますが、同封の葉書にてお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

なお、シンポジウム終了後に大使館ギャラリーにて簡単なお飲物などをご用意いたし、参加者の皆様と歓談の機会を持ちたく存じます。

スウェーデン大使館 報道参事官

ヨアキム・ベルイストロム

京都大学人文科学研究所 教授

富谷 至

京都大学学術出版会 専務理事・編集長

鈴木 哲也

**期 日** .....

2008年3月28日(金) 13時～18時30分

**場 所** .....

スウェーデン大使館 オーディトリウム及びギャラリー  
東京都港区六本木 1-10-3-100  
ホテルオークラ別館西隣:最寄り駅、地下鉄日比谷線神谷町(徒歩10分)、  
地下鉄南北線六本木1丁目(徒歩5分)

**使用言語** .....

日本語・英語・中国語 (発表内容は日本語で配布し、また通訳をつけます)

**参加費** .....

無料

**定 員** .....

100名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。  
折り返し御招待確認の通知をお送りします。)

**主 催** .....

スウェーデン大使館  
京都大学人文科学研究所  
京都大学学術出版会

**お問い合わせ先** .....

京都大学人文科学研究所 富谷研究室  
TEL 075-753-6962 (直)  
E-mail tomi@zinbun.kyoto-u.ac.jp